

夏休み寺子屋教室

うさぎの形をしたさくらもちを作ろう

平成30年8月6日(月) 中央地区市民センター

小学1年生～6年生の23名が参加したこの教室は、中須地区の佐伯妙子さんを講師にお迎えし、地元の食材を使ったお菓子作りです。夏休みにいろいろなことに挑戦してもらおうと、中央地区市民センターで6教室開催されたプログラムのひとつです。小学生の奮闘ぶりを取材してきました。



もち米を手のひらで伸ばして餡を包みます。



食紅でピンクにした米を目に♪表情は目が命!慎重に位置を決めています。



パッケージやしおりを折ってお持ち帰り用に。

中須北宮農組合菓子加工販売所「里のはな」では、中須産の素材にこだわった白うさぎのようなかわいい桜餅「うさしろ」が人気商品。今回はその桜餅をみんなで手づくりしました。

「やまぐちの棚田20選」にも選ばれているこの地区のもち米と黒大豆を使用した珍しい餡は、上品な味で子どもたちにも好評!

街なかの小学生たちに周南市の産品について知ってもらえたよい機会だったと思います。

